

ネパールにおける大地震に対する緊急人道支援

4月25日(土)12時頃(現地時間),ネパールの首都カトマンズ北西約80キロの地点を震源とするマグニチュード7.8の地震が発生。さらに,5月12日(火)カトマンズ東北東約76キロ地点を震源とするマグニチュード7.4の強い余震が発生。カトマンズを含む各地で,8,781名以上の死者及び22,303名以上の負傷者を出す甚大な被害が発生(死者数・負傷者数は6月9日時点)。各所で建造物が倒壊し,道路も寸断された。

我が国は1,400万ドル(約16.8億円)の緊急無償資金協力の実施,緊急援助物資の供与とともに,国際緊急援助隊(救助チーム,医療チーム,自衛隊部隊)を派遣。

1. 人的貢献:国際緊急援助隊

(1) 救助チーム

- 活動概要:カトマンズ市内及び近郊にて捜索救助活動を実施。女性の御遺体一体発見。
- 派遣期間:4月26日(日)~5月9日(土)
- 派遣構成:70名(内訳:外務省1名(団長),警察庁23名,消防庁17名,海上保安庁14名,JICA業務調整員15名)

(2) 医療チーム

第一次隊(46名)

- 活動概要:シンドウパルチョーク郡バラビセ(カトマンズの東約60キロ)にて医療活動。
- 派遣期間:4月28日(火)~5月11日(月)
- 派遣構成:46名(内訳:外務省1名(団長),医師8名,看護師16名,薬剤師2名,医療調整員10名,JICA業務調整員9名)

第二次隊(34名)

- 活動概要:第一次隊から活動を引き継ぎ,バラビセにて活動実施。14日以降,カトマンズ近郊の病院にて医療支援を実施。
- 活動期間:5月7日(木)~5月20日(水)
- 派遣構成:34名(内訳:外務省1名(副団長),医師6名,看護師12名,薬剤師2名,医療調整員7名,JICA業務調整員6名)

診療者数(バラビセ):延べ約920人。



ネパールにおける大地震に対する緊急人道支援

(3) 自衛隊部隊(医療援助隊(含 調査チーム))

- 活動概要:カトマンズ市内及び近郊にて医療活動。診療者数は延約2,900人。
- 派遣期間:4月29日(水)～5月22日(金)
- 派遣構成:統合運用調整所(4名), 医療救助隊(約110名), 空輸隊(待機を含む約160名)
(空輸隊は, 自衛隊医療援助隊が使用する資機材・物資を輸送。)

2. 資金的貢献/物的支援

- 5月1日(金), 1,400万ドル(約16.8億円)の緊急無償資金協力の実施を表明し, 12日(火), 正式決定(国際機関(WFP(食料, 人員・物資輸送), UNICEF(水・衛生), IFRC(シェルター, 医療), IOM(避難民キャンプ運営), UNFPA(保健), UNDP(がれき処理等), UN HABITAT(自主避難民の避難所支援), OCHA(人道支援に係る総合調整)を通じた支援)
- 緊急援助物資(テント, 毛布)は5月4日(月)以降, 12日(火)までに現地到着。
- 日本のNGOを通じた支援

国際緊急援助隊・救助チーム



自衛隊部隊(医療援助隊)



出典:防衛省

緊急無償資金



出典:WFP